



〔拡大版〕



日高中学校



志賀小学校



志賀保育所

期待と不安を胸に

— 保育所や小・中学校で入園・入学式 —

4月初旬に町内の保育所や小中学校で入園・入学式が執り行われ、新入生らが期待と不安を胸に、式に臨みました。

志賀保育所(松原千代子所長)では、お父さんやお母さんに手を引かれ、ぴかぴかの制服やスモックに身を包んだ新入園児ら32人が入場。松原所長は「保育所には滑り台やブランコなど面白いこと楽しいことがいっぱいあります。明日から元気に保育所に来てください」とお祝いの言葉を贈りました。また、在園児らは「チューリップ」や「むすんでひらいて」を歌って、新しいお友達を歓迎しました。

志賀小学校(保田勉校長)では、ぴかぴかの制服に身を包んだ新1年生30人が、花のアーチをくぐって入場。児童代表の三好希愛さんからは「最初は分からないことがたくさんあると思います。そんなときは、遠慮なく私たち上級生にきいてください」とお迎えの言葉が贈られました。

日高中学校(釈野靖仁校長)では、新入生ら79人が1組・2組・3組に分かれて入場。釈野校長が「これからの3年間は、一人前の大人になるためのとても大事な準備期間。自分の良さを発見してください」とエールを送りました。

寺井陽子氏(小池)に藍綬褒章

—春の褒章 26年間更生保護活動に尽力—



長年、更生保護活動に尽力
藍綬褒章
寺井 陽子氏(小池)

平成27年春の褒章の受賞者が決まり、当町から寺井陽子氏(小池)が選ばれました。県内の受賞者は寺井氏を含め7人で、5月15日には伝達が行われ、皇居において天皇陛下の拝謁を受けられました。

寺井氏は元県職員で、48歳のときから保護司として26年間の間、業務に従事されました。保護司は犯罪者の更生を手助けする業務で、保護観察となる執行猶予期間に当事者と面談して再発防止に取り組みます。保護観察活動では、罪を犯した10歳代から30歳代までの人を担当し、社会復帰を支援されてきました。平成8年には日高町更生保護女性会の設立に携わり、同13年6月からは日高町社会福祉協議会理事に、同21年6月から現在まで、会長として地域福祉に尽力されています。

寺井氏は「更生保護の関係で会員になって活動していただいている方々に感謝しています」と話されました。

稲葉伸秀氏(志賀)に瑞宝双光章

—春の叙勲 消防団・農業振興功労—

5月1日(金)、県庁において平成27年春の叙勲の伝達式が行われ、当町から稲葉伸秀氏(志賀)に瑞宝双光章が伝達されました。

また、同14日には皇居において天皇陛下の拝謁を受けられました。

稲葉氏は、昭和46年4月に日高町消防団に入団。農業を営みながら、平成26年3月の退団まで43年間にわたり地域の防災に尽力されました。平成21年4月からは団長としてリーダーシップを発揮し、初期消火訓練や防火研修など地域住民の防災意識の高揚に努められました。

また、昭和63年から現在までの27年間にわたり町農業委員を努められているほか、平成12年7月からは農業委員会会長として現役で農業振興に力を注がれています。

受賞について稲葉氏は「お世話になったみなさま方に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます」と話されました。



消防団・農業振興功労
瑞宝双光章
稲葉 伸秀氏(志賀)

